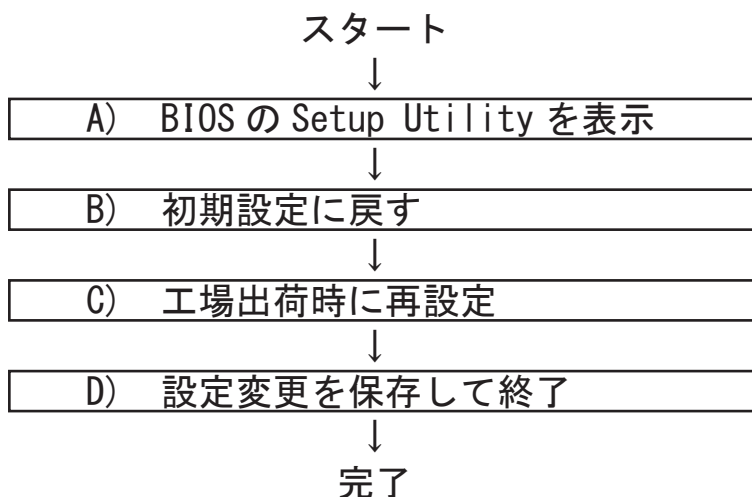


BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



A) BIOS の Setup Utility を表示します。

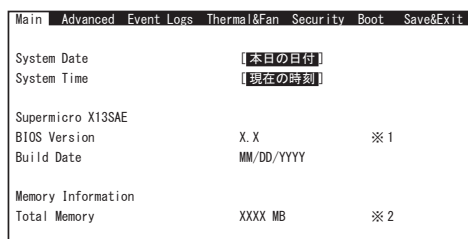
電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを押します。[Delete] キーにより、画面左下に「Entering Setup...」と表示されます。BIOS 設定画面（Aptio Setup Utility）が表示されるまでそのまま待ちます。



ご注意

押すタイミングによっては Setup Utility が表示されない場合があります。その場合はいったん本製品をリセットして Setup Utility の表示を試みてください。OS が起動した場合は OS の再起動をし、Setup Utility 表示を試みてください。

BIOS 設定のメイン画面（「Main」タブ）が表示されます。以降いくつかの項目を設定します。キーボードを使い設定します。



ご注意

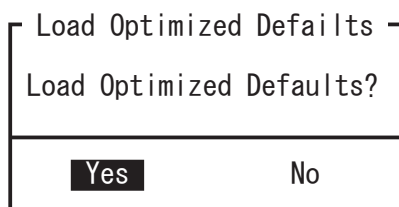
BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けない場合があります。これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。USB キーボードを挿し直してください。

B) BIOS 設定を初期設定に戻します。

BIOS 設定画面が表示されましたら [→] キーで「Save & Exit」タブに移動します。

次に [↓] キーで「Load Optimized Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Load Optimized Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後 [Enter] キーを押します。BIOS 設定が初期設定に戻ります。初期設定後、手動による設定が必要です。



C) 工場出荷時に再設定します。

各項目を手動設定します。本書は手動設定が必要な項目のみを記載しています。

本文中 ▶ 印の部分は [Enter] キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。また反転文字が設定項目です。

【操作方法】

- ・ [←] [→] [↑] [↓] キーで項目移動。
- ・ 日付や時間設定は、[Tab] キーで年月日や時分秒の各項を移動。
数字キーで直接入力も可能。[+] [-] キーで増減変更。
- ・ 設定変更項目へ移動後、[Enter] キーを押すと選択メニューが表示。
[↑] [↓] キーで選択後 [Enter] キーで確定。
- ・ [Esc] キーを押すと一つ前の選択メニューが表示。
大項目で [Esc] キーを押すと、セーブメッセージを表示。

【Main】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
System Date	[本日の日付]					
System Time	[現在の時刻]					
Supermicro X13SAE						
BIOS Version	X. X			※ 1		
Build Date	MM/DD/YYYY					
Memory Information						
Total Memory	XXXX MB			※ 2		

※ 1: BIOS のバージョンにより表記が異なる場合があります。

※ 2: カスタム仕様により、Total Memory 値が異なります。



ご注意

カスタム仕様により、以降のページにおいて表示されない項目があったり、記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Boot Features】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Fast Boot					[Disabled]	
Quiet Boot					[Enabled]	
Bootup NumLock State					[On]	
Wait For “F1” If Error					[Enabled]	
Re-try Boot					[Disabled]	
Power Configuration						
Watch Dog Function					[Disabled]	
AC Loss Policy Depend On					[Last State]	※ 3
Power Button Function					[Instant Off]	
DeepSx Power Policies					[Disabled]	

※ 3: 電源投入方法の設定

- [Stay Off] 前面の電源スイッチで電源投入します。
- [Power On] 背面の電源スイッチ、あるいは背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカなどで電源投入することができます。
- [Last State] Stay Off と Power On のどちらの状態も有しており、電源切断方法に応じて、次回の電源投入方法が決まります。



ご注意

電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず、正しいシャットダウンを行ってください。以降、設定した電源投入方法が機能します。

【Advanced > CPU Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
CPU Configuration						
12th Gen Intel(R) Core(TM) i7-12700						} ※ 4
.						
.						
Active Performance-cores						[All]
Active Efficient-cores						[All]
Hyper-Threading						[Enabled]
AES						[Enabled]
Boot Performance Mode						[Max Non-Turbo Performance]
Intel(R) SpeedStep(tm)						[Enabled]
Intel(R) Speed Shift Technology						[Enabled]
Turbo Mode						[Enabled]
Power Limit 1 Override						[Disabled]
Power Limit 2 Override						[Enabled]
Power Limit 2						0
C-States						[Disabled]
MonitorMWait						[Enabled]

※ 4: カスタム仕様により表示が異なります。



ご注意

・CPU機能の制限により、表示されない項目があったり、ここに記載のない項目が追加表示される場合があります。

・インテル第12世代プロセッサファミリーでは、Performance CoreとEfficient Coreを持つCPUがあります。Efficient Coreの存在により一部のアプリケーションにおいては正しく動作しない場合があります。その場合は、「Active Efficient-cores」を[0]に設定することで問題を回避できる場合があります。

【Advanced > Chipset Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
WARNING: Setting wrong values below sections may cause system to malfunction.						
▶ System Agent (SA) Configuration						
System Agent (SA) Configuration						
VT-d Supported						
▶ Memory Configuration						
▶ Graphics Configuration						
▶ DMI/OPI Configuration						
▶ PEG Port Configuration ※ 5						
▶ GT - Power Management Control						
VT-d [Enabled]						
GNA Device (B0:D8:F0) [Enabled]						
▶ PCH-I/O Configuration						
PCH-I/O Configuration						
PCH SKU W680						
Stepping xx						
▶ PCI Express Configuration ※ 6						
Frontside Audio Mode [HD Audio]						

※ 5 : PCI Express 5.0 x16 及び PCI Express 5.0 x8 スロットの設定

※ 6 : PCI Express 3.0 x4 スロットの設定

PCI Express スロットへ接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる主な項目です。拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張

ボードに合わせて設定ください。例えば「Max Link Speed」項や「PCIe Speed」項は、拡張ボードに合わせた1レーン当たりの最大転送レートを設定する項目です。

- | | |
|--------|---------------------|
| [Auto] | 以下の転送レートから自動設定します。 |
| [Gen5] | 32.0GT/s を上限に設定します。 |
| [Gen4] | 16.0GT/s を上限に設定します。 |
| [Gen3] | 8.0GT/s を上限に設定します。 |
| [Gen2] | 5.0GT/s を上限に設定します。 |
| [Gen1] | 2.5GT/s を上限に設定します。 |

【Advanced > PCIe/PCI/PnP Configuration】メニューにも整合性や調整を行う項目があります。

【Advanced > SATA And RST Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
SATA Controller(s)				[Enabled]		
Storage Option ROM/UEFI Driver				[EFI]		
Support Aggressive Link Power Management				[Enabled]		
SATA0				HDD/SSD Model Name (XXXX, XGB)		
Software Preserve				SUPPORTED		
Hot Plug				[Enabled]		
Spin Up Device				[Disabled]		
SATA Device Type				[Hard Disk Drive]		※ 7
SATA1				DVD Model Name		
Software Preserve				N/A		
Hot Plug				[Enabled]		
Spin Up Device				[Disabled]		
SATA Device Type				[Hard Disk Drive]		
.						
.						
.						
SATA7				Empty		※ 8
Software Preserve				Unkown		
Hot Plug				[Enabled]		
Spin Up Device				[Disabled]		
SATA Device Type				[Hard Disk Drive]		

※ 7: SSD をお使いの場合は [Solid State Drive] に設定します。以降 SATA7 ま
で、カスタム仕様に合わせて設定します。

※ 8: SATAドライブが接続されていない場合は [Empty] と表示されます。



ご注意

(M.2 SSD RAID を除く) 「M.2 SSD」は SATA ポートに接続していないため、
【SATA And RST Configuration】メニューには表示されません。

【Advanced > USB Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
USB Configuration						
USB Module Version		xx				
USB Controllers:						
1 XHCI						
USB Devices:						
1 Keyboard, 1 Mouse						
XHCI Hand-off		[Enabled]				
USB Mass Storage Driver Support		[Enabled]				
USB S5 Wakeup Support		[Enabled] ※ 9				

- ※ 9: Windows をシャットダウンした状態から、USB 2.0 ポートに接続した USB キーボードや USB マウスの操作で本製品の電源を ON（入）する機能について、有効化 / 無効化を設定可能です。

【Advanced > Chipset Configuration > System Agent (SA) Configuration
> PEG Port Configuration】メニュー

PCI-E M.2-M3 スロットに M.2 SSD を装着している場合、
PCI-E M.2-M3 の項目にて接続状態を確認できます。

接続されている場合 : x* Gen* （例：x4 Gen3）

接続されていない場合 : Not Present

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
PEG Port Configuration						
PCI-E M.2-M3		x4 Gen3				
Enable Root Port		[Enabled]				
Max Link Speed		[Auto]				
ASPM		[L1]				
L1 substates		[L1.1 & L1.2]				
CPU SLOT7 PCI-E 5.0 x16		Not Present				
Enable Root Port		[Enabled]				
Max Link Speed		[Auto]				
CPU SLOT4 PCI-E 5.0 x8 (IN x16)		Not Present				
Enable Root Port		[Enabled]				
Max Link Speed		[Auto]				

【Boot】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Fixed Boot Order Priorities						
Boot Option #1		[UEFI CD/DVD]				※ 10
Boot Option #2		[UEFI Hard Disk:Windows Boot Manager]				
Boot Option #3		[UEFI USB Key]				
Boot Option #4		[XXXX]				
.						
.						
.						
Boot Option #9		[XXXX]				
▶ Add New Boot Option						
▶ Delete Boot Option						
▶ UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities						※ 11
▶ UEFI USB Key Drive BBS Priorities						
▶ UEFI NETWORK Drive BBS Priorities						
▶ UEFI Application Boot Priorities						

※ 10: 起動ドライブの優先順位を設定します。

※ 11: ※ 10 の選択肢に「UEFI Hard Disk: Windows Boot Manager」が表示されない場合には、本項を設定してから※ 10 を設定してください。
本項を選択し、「Windows Boot Manager」を選択します。



ご注意

- USB 接続の外付け CD/DVD ドライブの場合は表示名の行頭に「USB」が、UEFI 対応 DISC がセットされている状態であれば行頭に「UEFI USB」が、付記されます。内蔵の光学ドライブの代わりにご使用いただけます。
- カスタム仕様により、設定（優先順位）が異なります。

D) 設定変更を保存して終了します。

設定終了後、再び「Save & Exit」タブを選択します。

「Save Changes And Reset」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Save configuration and reset?」と表示されますので「Yes」を選択して [Enter] キーを押します。

設定内容が保存され再起動します。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
<input checked="" type="button" value="Yes"/>	No



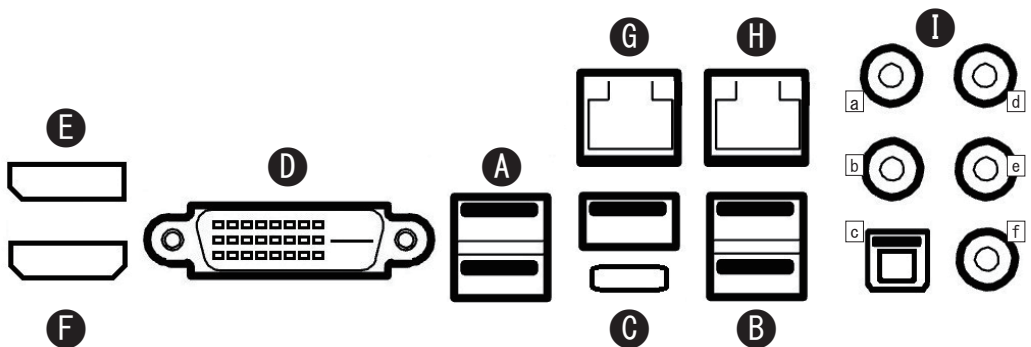
ご注意

「Discard Changes and Exit」や「Discard Changes」を選択実行すると、設定内容が保存されません。

ユーザーズマニュアル補足

S65 シリーズ

1. 製品背面側のコネクタ



A: USB 2.0 High-Speed (Type-A) 2 ポート

USB 2.0 を上限に、USB 機器を接続できます。

B: USB 10Gbps (Type-A) 3 ポート

USB 10Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。

C: USB 20Gbps (Type-C) 1 ポート

USB 20Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。 *1

D: DVI-D ポート

DVI-D モニターを接続できます。 *2

E: Displayport (1.4b)

Displayport モニターを接続できます。 *2

F: HDMI (2.1) ポート

HDMI モニターを接続できます。 *2

G: LAN (10/100/1000 Mbit/sec) 1 ポート

Intel(R) I219-LM

H: LAN (10/100/1000/2500 Mbit/sec) 1 ポート

Intel(R) I225-V

I: オーディオ機器を接続できます。

• a: Center/LFE Out

• d: Line In

• b: Surround Out

• e: Line Out

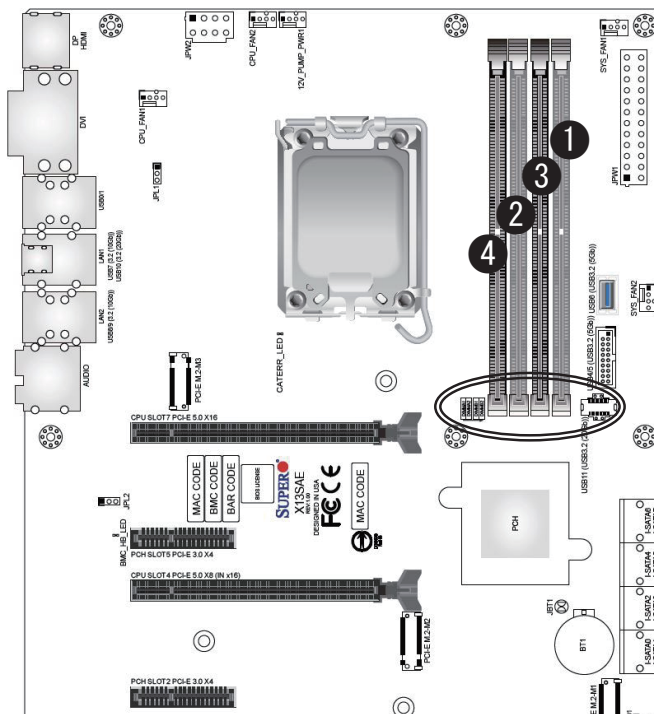
• c: SPDIF Out

• f: Mic In

*1: USB PD (USB パワーデリバリー)、Alternate Mode (オルタネートモード) には対応しません。

*2: 同時使用は上限 3 ポートまで可能です。

2. メモリーモジュールの増設



■メモリーモジュールの取り付け方法

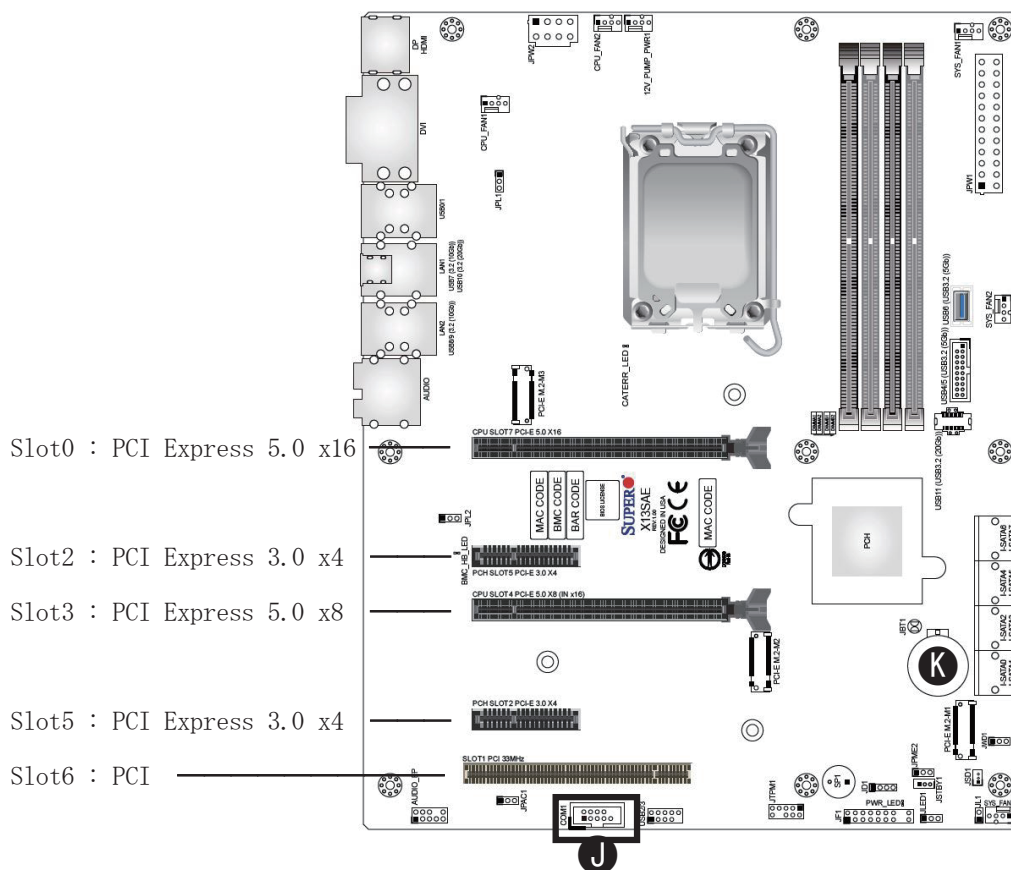
- 1) 1ヶだけの場合は ① に装着します。
- 2) 2ヶ同容量の場合は ① と ② に装着します。
- 3) 4ヶの場合
 - 3-1) すべて同容量の場合はそのまま ①～④ へ装着します。
 - 3-2) 容量が一組（2ヶ）ごと異なる場合は、① と ② に同容量一組（2ヶ）を ③ と ④ に同容量一組（2ヶ）を装着します。
 - 3-3) 容量が異なる場合は、「①、②、③、④」の順に、容量の多いメモリーモジュールを装着します。



ご注意

- ・メモリーモジュールには取り付け向きがあります。スロットの切り欠きに合わせて取り付けます。
- ・メモリースロットの片側のレバー（PCI Express スロットに近い側 ○部）は固定されています。
- ・より良い性能を発揮するために、2ヶ単位での装着（Dual Channel）を推奨します。

3. 内部のシリアル COM ポートコネクタと拡張スロット



Slot0 : PCI Express 5.0 x16

Slot2 : PCI Express 3.0 x4

Slot3 : PCI Express 5.0 x8

Slot5 : PCI Express 3.0 x4

Slot6 : PCI

J : Serial port (COM1)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。
カスタム仕様によっては使用済みです。

K : 電池ホルダー リチウム電池が装着済みです。

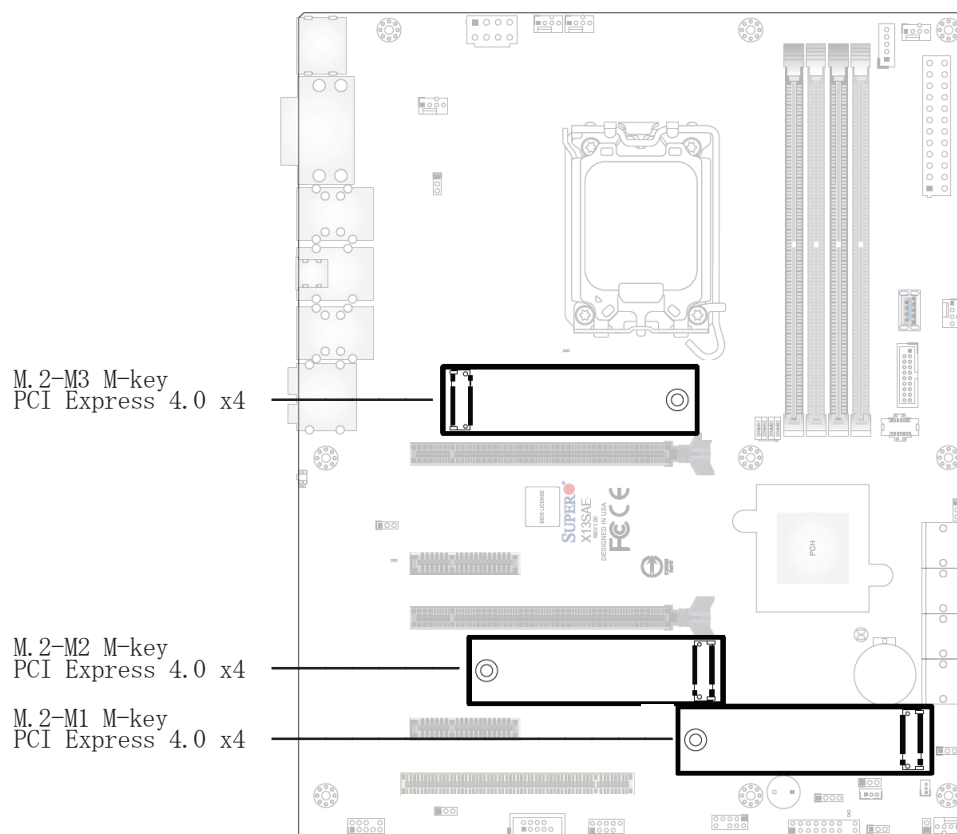
コイン型やボタン型と称されることもある一次電池です。
リチウムイオン電池 (二次電池) ではなく、充電することはできません。



ご注意

- PCI Express 5.0 x16 と x8 の 2 スロットには合計 16 レーンの制限があります。
(x16/NA または x8/x8 のどちらかです。 NA: お使いいただけません)
- 外部シリアル (COM) ポートケーブル (オプション) 搭載時には拡張スロットを使用します。使用スロット数は、カスタム仕様により異なります。

4. 内部の M.2 スロット



ご注意

- M.2 M-key PCI Express 4.0 x4 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用できます。搭載可能サイズは 2280 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD ヘリカバリーする場合は光学ドライブを除く、全ての SATA 接続機器を外してください。

安全にお使いいただくために

1) メモリーモジュールの転送速度

1-1) 搭載 CPU や装着しているメモリーモジュールの構成によって、データ転送速度が変わる場合があります。

1-2) 本製品は、上位または下位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。

DDR5-4800/4400 SDRAM DIMM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)

2) LAN ポート

2-1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



2-2) Wake on LAN

Wake on LAN 機能を使用する場合、BIOS 設定は不要です。Windows にプリインストールされている「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」(管理者権限で実行) で Wake on LAN を有効に設定します。加えて、Windows のシステム設定で高速スタートアップを無効に設定します。設定後、Windows を正しくシャットダウンすることで準備が整います。設定後に主電源 (AC 電源) を切断した場合は、Wake on LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウンすることで、再び準備が整います。

「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」において、該当する LAN ポートが表示されなかったり、サポート外と表示される場合には、Wake on LAN 機能をご利用いただくことができません。これは「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」の仕様であり、本製品の使用上の制限です。

MEMO: